

コンセプト（提案の意図）

シェアで若い世代が移住したくなる地域ごと魅力ある町づくり

空き家が及ぼす問題点

空き家となり老朽化していく建物は倒壊の恐れによる近隣への不安全感や衛生上においても不法投棄などにより不衛生となる。

これらは犯罪の温床となる要因となりえ、景観の悪化による心身に関わる地域への悪影響を及ぼしかねない。

これにより既存住宅の価値が下がることとなり 土地・建物が有効活用されず多くの利益を得られる機会は損失され、地域の活力がさがってしまう一因となる。

空き家周囲にはこれらのことから人が寄り付かなくなり活気がなくなる。

活気がなくなるとその地域を避け、悪循環となる。

ポツリと点在する空き家は今後、売却や建て替えの可能性が残るが接道が確保できない建物や昔ながらの長屋の形態をとる建物が集中する地域等は建て替えなどによる活用が難しい。

空き家が集中していることで人離れが進み、土地全体のイメージも悪化している現状がある。

